

Subject: 日本保健物理学会 新Newsletter 2017年7月25日号
From: 一般社団法人日本保健物理学会 <exec.off@jhps.or.jp>
Date: 2017/07/25 12:38
To: <exec.off@jhps.or.jp>

日本保健物理学会 新Newsletter 2017年7月25日号

1. 学会関連情報

- 日本保健物理学会第51回研究発表会の開催日時・場所が決定しました。
開催日時：平成30年6月29日(金)？30日(土)
場所：ホテルライフオーツ札幌
 - 編集委員会からのお知らせ
大分での合同大会で発表された研究成果を、ぜひ「保健物理」にご投稿ください。
投稿規定などは以下をご覧ください。投稿をお待ちしています。
<http://www.jhps.or.jp/journal/index.html>
 - 原子力規制庁の平成29年度放射線安全規制研究戦略的推進事業費の「放射線安全規制研究推進事業」に本学会の活動をベースにした「原子力・医療従事者等の標準的な水晶体の等価線量モニタリング、適切な管理・防護はどうあるべきか？～水晶体被ばくの実態から探る～」の研究が採択されました。
また、「放射線防護研究ネットワーク形成推進事業」に採択された「放射線防護研究分野における課題解決型ネットワークとアンブレラ型統合プラットフォームの形成」にも学会として協力することになりました。
<https://www.nsr.go.jp/data/000196751.pdf>
 - 水晶体の線量限度に関して日本の現況と専門研究会での議論をまとめた論文がJournal of Radiological Protection誌に掲載されました(7月20日)。
Yokoyama S et al
Current situations and discussions in Japan in relation to the new occupational equivalent dose limit for the lens of the eye
<https://doi.org/10.1088/1361-6498/aa73e8>
- ## 2 関連する研究動向
- ICRP Publication 134: Occupational Intakes of Radionuclides: Part 2を公開。
<http://www.icrp.org/page.asp?id=354>
 - International Journal of Environmental Research and Public Health(IF=2.1)のSpecial Issueへの投稿論文募集
“Public Health Preparedness for and Response to Nuclear Disasters” (論文投稿締め切り：2018年6月15日) 掲載費用：1600 CHF

http://www.mdpi.com/journal/ijerph/special_issues/Nuclear_disasters

(論文情報)

○Health Phys. 113(2), 143-148, 2017

光子フルエンス荷重LETを比較することで、原爆被爆者と原子力作業者の光子エネルギー分布の違いがもたらすリスク推定の影響は主要臓器においては小さいことを示した。

Sasaki M

Photon-fluence-weighted LET for radiation fields subjected to epidemiological studies.

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/28658060>

○Environ. Sci. Technol. Publication Date (Web): July 17, 2017

2012?2015年にかけて回遊する捕食動物（硬骨魚、サメ、海洋哺乳動物、カメ）を北太平洋の各地で捕獲。カメでトレーサーレベルが検出された1例以外

福島事故由来の¹³⁴CsはNDであった。¹³⁷Csの値は種によって異なるが、おおよそ福島事故以前のレベルと一致し、40Kより1?2桁低い値であった。

Madigan D J et al

Assessing Fukushima-derived radiocesium in migratory Pacific predators

<http://pubs.acs.org/doi/abs/10.1021/acs.est.7b00680>

○ 哺乳類科学 2017

栃木県那珂川町のイノシシ肉加工施設に搬入されたイノシシの咬筋、胃内容物および直腸内容物、尿の放射エネルギーを経時的に計測。

胃内容物の放射エネルギーは経時的に変化。直腸内容物の放射エネルギーは経時的変化が観察されず、咬筋の値よりも高くなる傾向を観察。

栃木県、茨城県および福島県にまたがる八溝山地域に生息するイノシシの放射性セシウムによる汚染状況の評価

小寺祐二 他

https://www.jstage.jst.go.jp/article/mammalian-science/57/1/57_9/_pdf

3 ニュースや社会の動き

○環境省と福島県が共同で運営する「除染情報プラザ」が、「環境再生プラザ」に名称を変更（7月14日）

<http://josen.env.go.jp/plaza/>

○原子力規制庁 平成29年7月1日付けで放射線規制に関する組織を変更

RI法の施行に関する事務の担当部署は「放射線防護グループ 放射線規制部門」に。

<http://www.jrias.or.jp/topics0/20170711.html>

○日本原子力学会教育委員会 報告書公開

「新学習指導要領に基づく高等学校教科書のエネルギー・環境・原子力・放射線関連記述に関する調査と提言?地理歴史科・公民科の調査?（平成29年6月）」

http://www.aesj.net/education/syoto_tyutokyoiku

○OECD/NEA 原子力関連の規制・制度的枠組みに関するレポート（日本特集）を更新

<https://www.oecd-nea.org/law/legislation/japan.pdf>

4. これからのイベント

○日本放射線安全管理学会12月シンポジウム（11月30日～12月1日、東京大学農学部弥生講堂一条ホール）ポスター発表募集中（8月31日締切）

<http://www.symposium.jrsm.jp/2017/>

○JST・量研機構 新技術説明会（8月1日、JST東京本部別館1Fホール（東京・市ヶ谷））

https://shingi.jst.go.jp/kobetsu/gst/2017_gst.html

○OECD/NEA・量研機構 科学・エンジニアリング分野の女性科学者育成に向けた女子高校生を対象とした国際メンタリング・ワークショップ

国際シンポジウム「量子生命科学 -Quantum Life Science-」に合わせて開催（7月25?26日、幕張・千葉）

<http://www.gst.go.jp/information/gst2017.html>

○日本学術会議総合工学委員会原子力事故対応分科会 公開シンポジウム（8月1日、日本学術会議講堂）

「原子力発電所の自然災害への対応?福島事故の津波対策を例として?」

<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/247-s-3-2.pdf>

○環太平洋原子力協議会(PNC) 環太平洋原子力会議PBNC2018（2018年9月30日?10月5日、米国サンフランシスコ）
アブストラクト募集中 2017年10月15日締切

http://www.ans.org/meetings/m_248

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○日本原子力研究開発機構 平成30年度 博士研究員公募（合計20名程度）（締切：8月14日必着）

<https://www.jaea.go.jp/saiyou/employment/626/>

○大阪府立大学 工学研究科 量子放射線工学分野テニユアトラック助教（女性限定）（締切：9月15日必着）

http://www.osakafu-u.ac.jp/public_notice/rec2931/

○大阪物療大学 准教授、講師いずれか（診療画像検査学、放射線技術学）（締切：9月29日必着）

<http://www.butsumyo.ac.jp/gakuen/recruit/>

既発行の新Newsletterはこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/newsletter/index.html>

新Newsletterにて発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

— . . . —
【発行】一般社団法人日本保健物理学会
【編集】同企画委員会
【発信元】同学会事務局

TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659

E-mail: exec.off@jhps.or.jp

— · — · — · — · — · — · — · — · —